

はじめてのファミリーアウトドア講座～キャンプ編～
第2回事業報告

1 期 日 令和4年9月10日(土)～9月11日(日)

2 趣 旨 県内の青少年(高校生以下)とその家族を対象に、自然環境の中、家族で調理することを通じて、家族の絆を深め、調理する喜びや楽しさを味わう機会を提供することにより、体験活動の普及・啓発を図る。

3 対 象 県内の青少年(高校生以下)とその家族

4 研修内容

9月10日(土)	13:30	14:00	14:10	16:30	19:30	20:30	22:30
	受付	開講式 <small>趣旨・日程説明</small>	「自然体験活動のKYT」 「生活空間を整えよう」 <small>(テント設営)</small>	野外調理 <small>※ 食事・片付け時間含む</small>	「自然体験活動の意義」	入浴・自由時間	消灯就寝
9月11日(日)	6:30	7:15	8:00	9:30	10:30	11:00	11:20
	起床	「テント撤収について」	野外調理 <small>※ 食事・片付け時間含む</small>	思い出クラフト体験 <small>(焼き杉)</small>	「テント撤収について」	片付け・アンケート記入	閉講式→解散

5 当日の様子

〈一日目：開講式〉

第二回も天候に恵まれ、予定通りの開催をすることができました。開講式は、日程説明や注意事項などお伝えしました。



開講式

〈一日目：「自然体験活動のKYT」「生活空間を整えよう」〉

九州共立大学の花田道子先生を講師にお迎えして野外活動における安全管理についてのご講義をいただきました。野外活動には数々の危険が潜んでいることをわかりやすく教えてくださいました。その後は、体育館でテント設営の手順を説明し、実際にテントサイトで家族で協力して設営を行いました。



花田先生の講義



体育館でテント設営の練習



野外でのテント設営

〈一日目：「野外調理」「自然体験活動の意義」〉

夕食にダッチオーブンを使用してのローストチキンと飯盒炊飯の調理をしました。夜には、花田先生から研修室で「自然体験活動の意義」について講義をしていただきました。



野外調理



たけのこ広場からの夕日

〈二日目：「テント撤収」「野外調理」「思い出クラフト体験」〉

翌朝にはテントの撤収、朝食としてホットサンドとオニオンスープを調理しました。最後は、クラフト体験として焼き杉をしました。



思い出の焼き杉

○参加者の声

- ・娘がキャンプをしたいと以前から希望していたのですが、テントを持っていませんでした。レンタルしても料金がそれなりにするし、大人一人では準備や後片付けが大変だし…と迷っていたところ、こちらのキャンプを知りました。たくさんのスタッフの方に助けていただいたり、娘の遊び相手になってくださったりして、娘も私も大満足の体験になりました。
- ・日頃なかなか経験できない貴重な体験をさせていただきました。
- ・家族みんなでキャンプするのは初めてでしたが、手とり足とり教えて頂き、キャンプの楽しさを体感できました。また、別のイベントにも積極的に参加したいです。大勢で自然体験することで子どもたちも成長できたと思います。
- ・子どもと一緒に自然の中で料理やテントはりを行え、子どもがとっても生き生きしていたので参加できてよかったです。ありがとうございました。

○全体を通して

体育館で参加者の代表数名とテント設営の説明を行った後、野外のテントサイトで家族ごとにテント設営を行いました。皆さん上手く役割分担をしながらテントを完成させ、家族との絆の深まりや家では見ることでできないお子さんのたくましく活動する姿に喜ばれていました。夕食のローストチキン作りでは、ダッチオーブンならではの豪快でおいしい料理に大変満足されていました。

参加者はほとんどの方がキャンプ初心者で「やってみたい気持ちがあったがなかなかできなかったのが本当に良い機会になりました」と感想を述べられていました。これを機会に今後も家族でキャンプや野外活動に取り組んでいただけたら嬉しいです。